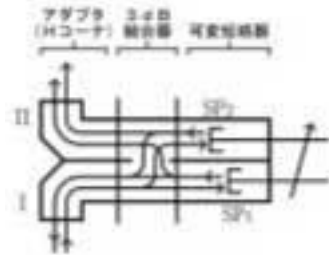
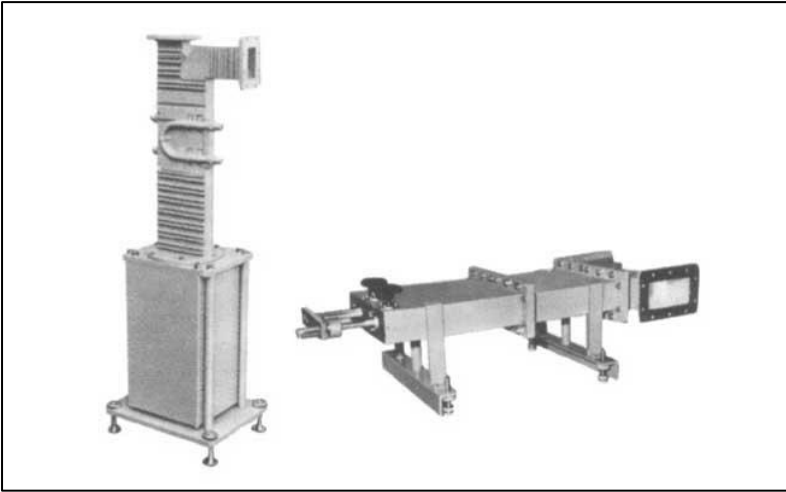




VSWR Introducer

大電力定在波発生器

■ハイブリッドチューナ



本器は2開口形回路素子で導波管回路の途中に接続され、任意のインピーダンスを発生できるように設計されたものであります。本器はアダプタ、側壁形3dB結合器および2連形可動短絡器の三つの部分より構成されています。端子Ⅰより入ったマイクロ波は3dB結合器で2分割された後、3dB結合器の後方に接続された2連形可動短絡器の短絡板SP1、SP2にて反射されます。SP1、SP2で反射された二つのマイクロ波は、それぞれ3dB結合器で2分割され、端子Ⅰ、Ⅱにでてきます。したがってSP1、SP2の間の距離を調整して二つのマイクロ波間の位相差を变化することにより端子Ⅰ、Ⅱに出てくるマイクロ波の出力を自由に変えることができます。またSP1、SP2の間の距離を一定に保ったまま両者を連動すれば、端子Ⅰ、Ⅱに出てくるマイクロ波の位相を自由に変えることができます。したがって本器は大電力用の定在波発生器、出力電力調整器、移相器、整合器として多く使用されています。

形 式	周波数範囲 (MHz)	最大VSWR	使用導波管	測定周波数 (MHz)			許容電力 (kW)		加圧 (MPa)
							ピーク	平均	
WVIA-1R71H	2000±10	2.0	WR-510	1990	2000	2010	-	1400 ※2	-
WVI-021H	2400~2500		WRJ-2	2400	2450	2500	-	2	-
WVIA-031LP ※1	2856±10		WRJ-3	2846	2856	2866	10000	10	0.3
WVIA-031MP ※1	3000±10		WRJ-3	2990	3000	3010	3000	2	0.2

※1：モータ駆動式 ※2：10秒間
共通規格 ・校正曲線一部添付

日本高周波株式会社

本社：〒226-0011 横浜市緑区中山町1119 Tel. 045-939-6961 Fax. 045-932-1900

Email sales@nikoha.co.jp URL http://www.nikoha.co.jp